



2022年度 都市計画ビジュアルコミュニケーター検定

都市構造可視化技術に関する学識及び実技能力を有する技術者育成のための検定

開催日時

2023年 2月15日(水)

開始時間については、午後1時30分～午後4時までの間であらかじめ受験者に通知します。

背景画像：地理院タイル

受験資格

年齢、学歴、業務経歴、国籍等による制限はありません。

試験会場 東京都、リモート

受験者は申し込み時に試験地を選択してください。
試験会場については、改めて受験者に通知します。

試験内容 学科試験・実技試験

試験は、次の3つの分野について行います。

- (1) 統計に関する内容
- (2) 都市計画に関する内容
- (3) 都市構造可視化計画ウェブサイトに関する内容

受験料 14,000円

受験料のお支払方法については、受験申込書受領後に改めて受験者に通知します。

検定に関する詳細については、下記URLをご覧ください。

一般社団法人都市構造可視化推進機構

<https://kashika.or.jp/kentei>



受験申込書等 配布期間

2022年 2023年
12月19日(月)～1月25日(水)

受験申込 受付期間

2023年
1月10日(火)～1月25日(水)
土曜日・日曜日を除く。

受験申込書類は、一般社団法人都市構造可視化推進機構宛てに、原則郵送※にて提出。

※書留郵便（2023年1月25日までの消印のあるものは有効。）

受験申込書類

都市計画ビジュアルコミュニケーター
受験申込書

受験申込書類については、『一般社団法人都市構造可視化推進機構』のホームページ(左記URL)よりダウンロード可能です。

合格発表

試験より約2ヶ月以内に、合格証への発送をもって発表いたします。

正答の公表

模範解答・答案の公開、返却はいたしません。

お問合せ および
申込書類提出先

一般社団法人 都市構造可視化推進機構

〒812-0028 福岡市博多区須崎町5-10 アーサ小林ビル201

TEL 092-292-0639

E-mail vc_info@kashika.or.jp

都市計画ビジュアルコミュニケーター検定試験の実施について

- ① 人口減少等に起因にする都市のスポンジ化等の社会問題が顕在化する中、多様なデータの活用等により、都市の現状や将来の都市構造を分析し、客観的、専門的立場からまちの課題や対応方針を示す都市計画実務専門家の活躍がこれまで以上に求められています。このような背景のもと、都市計画に携わる実務者に対して、都市構造可視化技術の普及促進を図り、持続可能な都市構造の実現等に資することを目的として実施します。
- ② 都市計画ビジュアルコミュニケーター検定試験は、上記の都市構造可視化技術に関する学識及び実技能力を有するか否かを判定し得るよう実施します。
- ③ 試験は、都市構造可視化技術に関わる幅広い知識を問う学科試験、都市構造可視化技術を用い都市構造を分析する実技試験の2科目について行います。

検定試験の試験方法

◆ **学科試験（解答時間 1 時間）** 4肢択一式により行います。問題の種類は次のとおりです。

【統計】（5 問）

- ・統計法で用いられる語句
- ・国勢統計の対象や周期
- ・国勢調査の調査項目
- ・基幹統計の指定や公表等
- ・秘匿処理の方法、集計結果利用上の注意

【都市計画】（5 問）

- ・都市計画の目的、基本理念
- ・都市計画法で用いられる語句
- ・無秩序な市街化の防止、計画的な市街化
- ・土地利用や都市機能の誘導
- ・公共施設の適正な配置、公共交通維持

【都市構造可視化計画ウェブサイト】（10 問）

- ・サイトの目的、都市構造の視覚化、Google Earthの活用
- ・3次元での表示、経年変化、クロス分析、ストリートビューの確認、複数都市の表示
- ・掲載データ
- ・メッシュデータとは、標準地域メッシュ、市区町村に対するメッシュの設定、測地系
- ・人口推計の方法、駅・バス停利用圏の設定方法
- ・利用環境の準備、ウェブサイトの機能、データの検索、Google Earthの操作
- ・利用規約、会員登録、著作権、保証および免責
- ・その他の事項、過去の質問事項 など

◆ **実技試験（試問時間 45 分間）**

日本都市計画学会都市構造評価特別委員会が運営する都市構造可視化計画ウェブサイトならびにGoogle Earthを用いた都市構造の把握に関する技術に関して行います。問題の種類は次のとおりです。

【KML の使い方】（2 都市 × 4 問）

① 都市構造可視化計画ウェブサイトの使い方

- ・KMLの検索
- ・KMLのダウンロード

② Google Earth の使い方

- ・3次元での表示
- ・経年変化アニメーション
- ・クロス分析の表示

- ・合格基準は、学科試験は60%以上（各分野で30%以上）、実技試験は60%以上の正答率で合格とします。
- ・試験の可否、成績などの電話によるお問い合わせには応じることができませんので、ご容赦ください。
- ・受験の際は、Google Earthがインストールされたノートパソコンをご持参ください。

検定試験関連書籍の入手方法

検定試験関連書籍は、Amazonより入手可能です。

◆ **都市計画ビジュアルコミュニケーター検定試験 2022年度版テキスト（税込 2,970円）**

◆ **都市計画ビジュアルコミュニケーター検定試験 2022年度版問題集（税込 2,970円）**

Amazonサイトにて、上記商品名を入力して検索してください。

（お届けに1週間ほどかかる場合がありますので、予め時間に余裕をもってご購入ください。）

